

# 取組事例 「ちとせ版ネウボラ」 (千歳市子育て包括支援センター) 事業 (千歳市)

千歳市では、「全道一若いまち」という特長を生かして、安心して子どもを産み育てることのできる環境を作るための取組を実施し、出生数を増やすことを目指している。

## 関連数値目標・KPI

|              | 基準値<br>(H28) | 実績<br>(H29) | 目標値<br>(H32) | 進捗率<br>(%) |
|--------------|--------------|-------------|--------------|------------|
| 支援プラン<br>作成数 | 1,459件       | 2,605件      | 2,500件       | 104.2%     |

## 取組事例 「ちとせ版ネウボラ」事業の実施

### 1. ワンストップ窓口の設置

○市の総合保健センターにワンストップ窓口、市内の子育て支援センターに定期的に相談室を開設し、相談を実施

保健師等の専門知識を有する母子保健コーディネーターが中心となって、個別ケースに応じて児童相談所、子育て支援機関、医療機関などの関係機関等と連携

○主な取組

- ・総合保健センターへの相談の実施 (H29相談件数 988件)
- ・子育て支援センターへの相談の実施 (H29相談件数 704件)



ワンストップ窓口での相談の様子



子育て支援センターでの相談の様子



・安全で安心な子育て環境の実現  
・育児負担の軽減

### 2. 個別支援プランの作成

○主な取組

・妊娠届出時や赤ちゃん訪問時、転入時などに、母子保健コーディネーターが各年齢、家庭に応じた支援プランを個別に作成し、サポートを実施

○H29実績 計2,605件

- ・妊娠期支援プラン作成件数 916件
- ・産後支援プラン作成件数 831件
- ・乳児期支援プラン作成件数 831件
- ・幼児期支援プラン作成件数 27件



支援プランによるサポートの様子



・子育てしやすいまちであることによる  
出生率の増加

・H30.4.18に目標人口97,000人を達成

・道内の自治体で唯一、「自然増」(総務省・人口動態調査 H30.7公表)

※ネウボラ

フィンランド語で、「ネウボ(neuvo)=アドバイス」「ラ(la)=場所」という意味で、約70年前にフィンランドで発祥した「妊娠・出産・子育て」を支援する制度。

フィンランドでは、国内に800以上のネウボラの拠点があり、特別な教育を受けたネウボラナース(保健師、助産師)がこまめに話を聴きながら家族全体を支援している。

ちとせ版ネウボラでは、妊娠期から子育て期までの子育て家庭を対象に、総合保健センター、子育て支援センター、家庭児童相談室が拠点となって、子育てに関する総合的な相談事業に取り組んでいる。さらに、虐待、産後うつ等の問題を予防するため、相談を通じて不安の解消を図るほか、関係機関で「ネウボラ会議」を定期的に開催し、連携して支援を行うなど、利用者に寄り添った切れ目のない包括的な支援を実施している。